

CLiC活動紹介

2021年2月3日

伊藤 章雄

(CLICシーズ分科会主査 / FDT GROUP本部 / 横河電機(株))

A solid orange horizontal bar spanning the width of the slide at the bottom.

◆ 活動方針

- ✓ 制御層における情報連携の有効性の確認
- ✓ 新規技術項目の創出と標準化の提案

◆ CLiCの構成

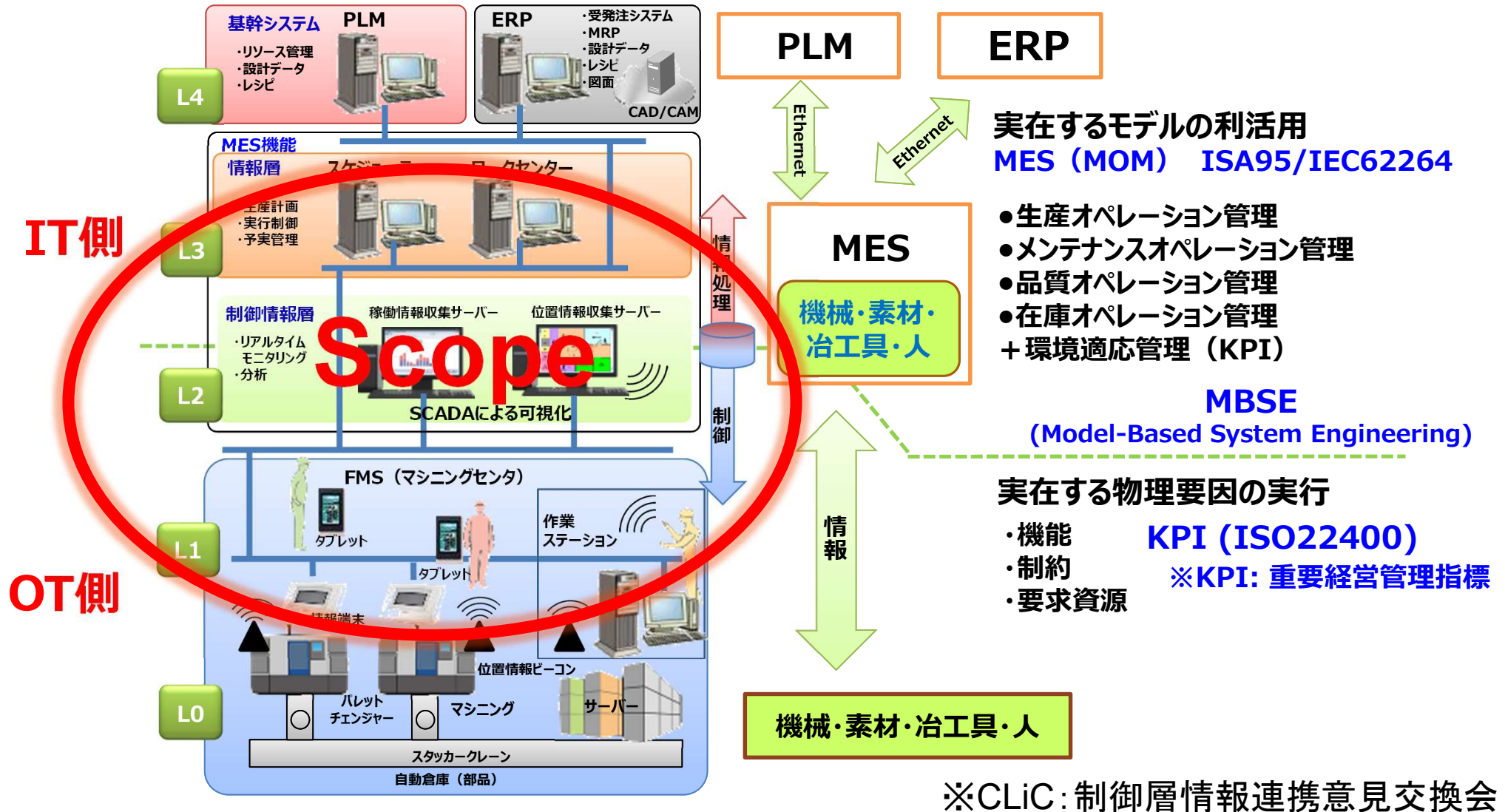
1) シーズ分科会

- ユースケースに対する各団体仕様の活用検討と関係技術のスタディ
(他の仕様も含め)
- 日本の標準化団体の国際的なプレゼンスの向上
- 所属団体: 日本OPC協議会, PLCopen Japan, FDTグループ日本支部

2) KPI分科会

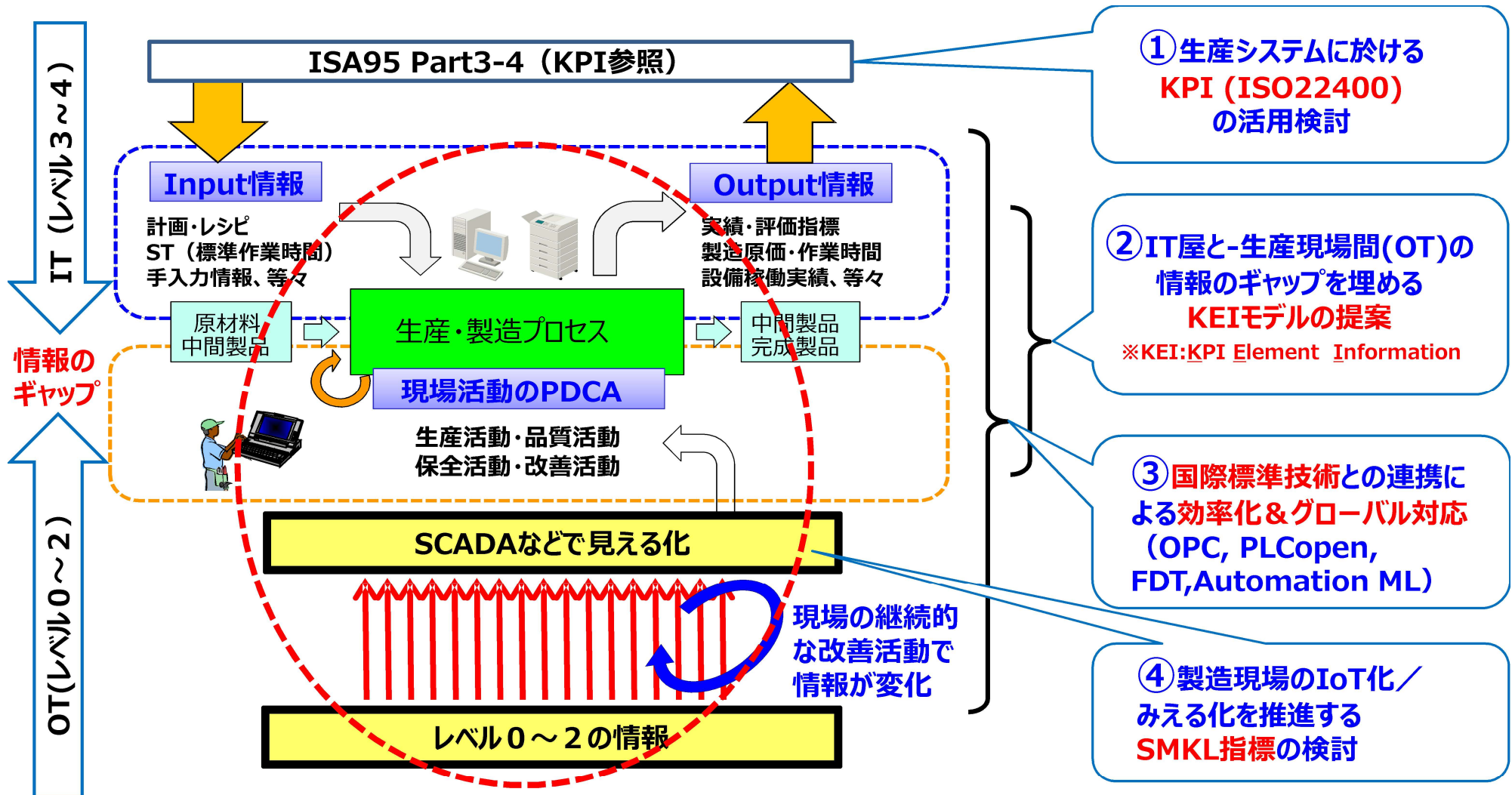
- KPIに関するアセットオーナー運用、システム構築支援に関して検討
- 仮想ファブによる実証実験の検討
- OPC-Jと連携

IAF CLiC※の取り組みについて（検討範囲）



IAF CLiCの取り組みについて（検討項目）

目的：より効率的で正確な事業経営を実現



◆ 2020年のCLiC活動

- ✓ IIFES2019(旧:SCF／計測展TOKYO)への出展で関係を構築した
IAF関係以外の一般の方へのCLiC活動への誘致
 - ✓ CLiC プライベートWebinar(2020年8月24日)
 - ✓ SICE2020(英文)に投稿・講演
 - ✓ KPI・SMKL・IIFES2019デモ・MBSEの関連を紹介
 - ✓ 計測展2020セミナーで講演
 - ✓ 早稲田大学ACROSSで講演
 - ✓ SICE安全のための計測・制御・システムを考える会サロンで講演(予定)
 - ✓ ...
- ✓ IIFES2019の出展でリソースを活用した、Edgecrossコンソーシアム
との相互協力
 - ✓ EdgecrossコンソーシアムセミナーでのSMKL紹介

① シーズ分科会

●国際標準(OPC UA, FDT, PLCopen)を活用するユースケースの創出及び関連技術(Automation ML)の調査検討

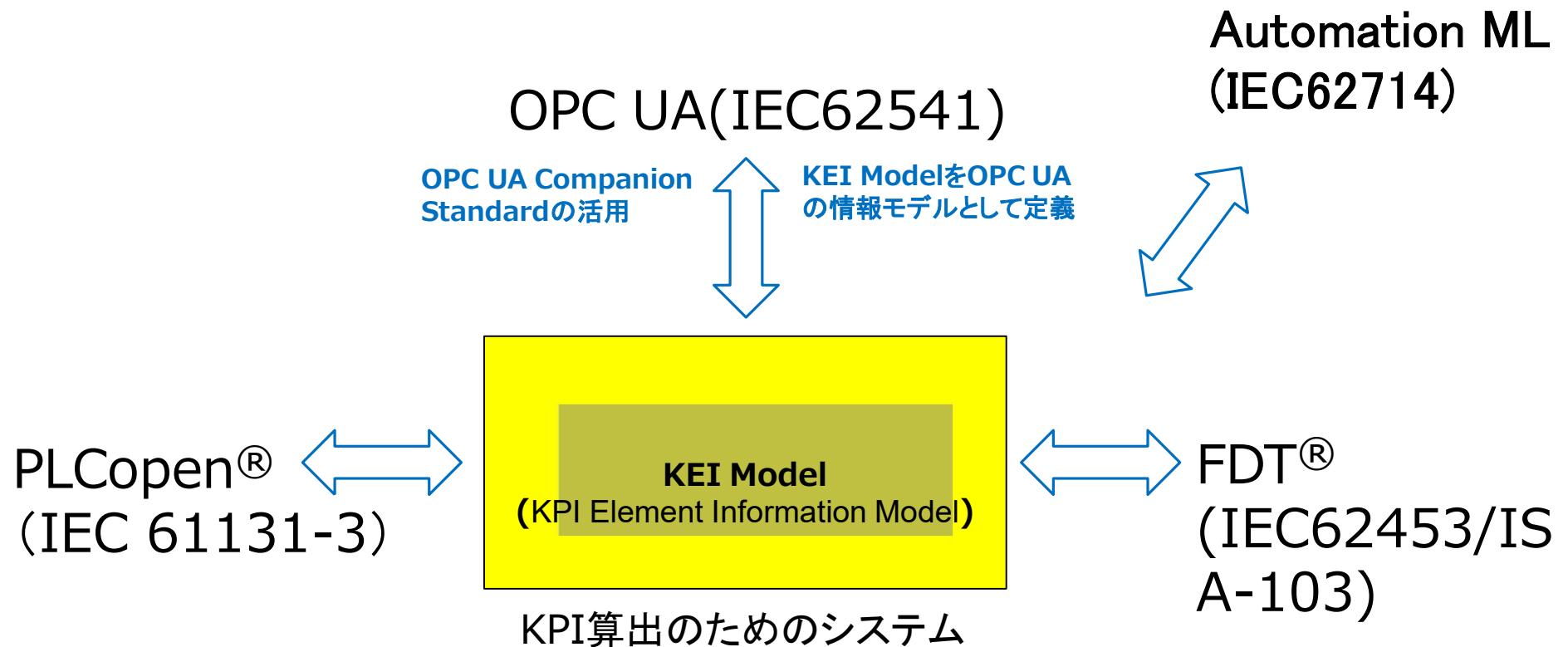
1) KEI MODELに有効なユースケースの提案

- ・ネットワークプロファイルのKPI定義によるKPI計算効率化

2) KPI情報取得に関する各団体技術(プロファイル、FBなど)の活用検討

- ・プロファイル、Automation ML のスタディ

- 実装と伝達手段は国際標準化技術を用いて効率的に実現することが望ましい。



② KPI分科会(KPI関係活動)

●KPI運用に関する課題抽出と対策検討、及びKPIシステム構築に関する国際標準技術の活用検討

1)KEI MODELの作成

- 工作機械が配置された製造ラインをモデリングターゲットとする

2)実工場をターゲットとした実証実験

- KEI MODELに基づく国際標準技術の適用を支援

3)体制構築:基盤づくり

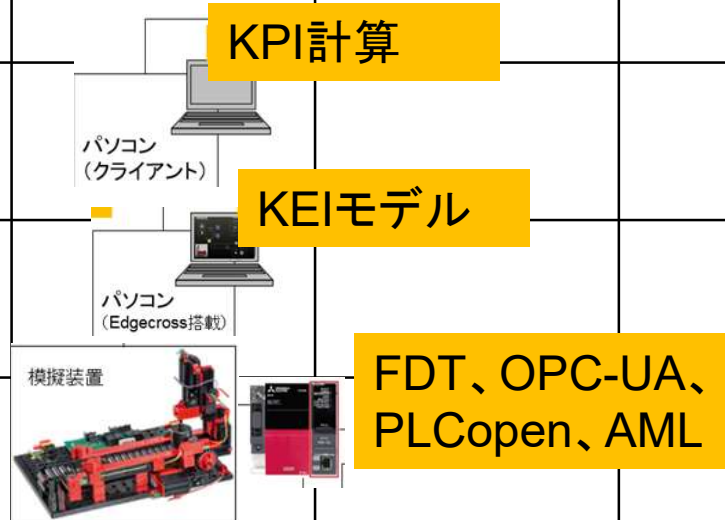
- プロジェクトとして参加者を募集

4)KPIをベースとしたSMKL(Smart Manufacturing Kaizen Level)の白書を、KPIの視点からレビューし、IAFから発行

- SICE2020投稿 & 発表、プライベートセミナー、計測展2020

IIFES2019デモシステムにおける IIoT成熟度レベルの見える化(SMKL)

レベルd	診える化 (改善) Optimizing				
レベルc	観える化 (分析) Analyzing				
レベルb	見える化 (可視化) Visualizing				
レベルa	データ収集 Collecting				
見える化 レベル	管理対象	設備・作業者 Installation & Worker	ライン Workshop	工場全体 Factory	サプライチェーン全体 Supply Chain
		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4



以上

Industrial Automation Forum(IAF)
制御層情報連携意見交換会(CLiC)